

SAIDAIJI JC REPORT

VOL.4

2003年度スローガン

Challenger



吉井川フェスタ 2003 開催決定

7月27日は吉井川に

一日海水浴場復活!



(昭和38年当時の吉井川)

7/27(日)

10:00~15:00

会場:ブルーライン西大寺大橋付近
河川敷 砂浜

※ 通常は海水浴場ではありません。
一日だけのイベントです。

このフェスタは吉井川を考える催しです。このフェスタをとおして、かけがえのない自然と共に暮らしていくために何かの行動を起こす小さなきっかけになればそんな思いを込めて吉井川フェスタを開催します。

- 開催イベント(予定)—
- ビーチフラッグ大会
 - 宝探し
 - カキ氷の早食い大会
 - ラムネの一気飲み大会 他



詳しい内容は、ホームページまで。

<http://www.optic.or.jp/saidaijic/yoshiigawafesta/>

「吉井川を共に想い、共に考える」吉井川フェスタ実行委員会

お問合せ

岡山市西大寺中3-6-15 西大寺商工会議所内 TEL (086) 942-0101

平成15年度 J P 文化協議会

総会を開催して

地球ふるさと委員会

担当副理事長 水野 隆一郎

去る6月23日(月)に西大寺ふれあいセンターにてJ P 文化協議会が開催されました。J P とはJ C とP T A で組織された団体ですが本年度で30周年を迎えることとなりました。主な事業としては、少年はだか祭りの共催、吉井川フェスタの後援、J P 文化協議会の開催などがあります。



設立30周年を迎えたわけですが、今こそ、この組織が注目される時代になってきたのではないかと思います。子供の教育に地域社会が関わっているこの時世にまさにタイムリーな組織ではないでしょうか。この組織を30年前に作った、J C の先人方はほんとうに先見の明をもっていたのではないかとつくづく思います。私ごとですが今、邑久町教育委員会の地域教育力推進委員会の委員をやっている、いろいろ試みを含んで考えているのですがなかなか良い事業はありません(ちなみに今年の花いっぱい運動をすることになりました)。特にその地域性のあるものはほとんどありません。昔の農村や大家族から都市型の生活や核家族へと環境が変化している中で地域の教育力が低下しているといわれている昨今、各

地で地域教育力を推進する取り組みがなされています。ほとんどがボランティア活動や体験学習が主ですが、西大寺ではJ C が主体となっていることもあり独特の事業が行われていると思います。中でも地域の最大のお祭り「会陽」で開催する少年はだか祭りは西大寺独自の大変すばらしいものだと思います。この事業があるだけでもJ P 文化協議会さらには西大寺J C が存在する意義、そして地域から必要とされる意味があるのではないのでしょうか。



30周年記念

教育公演会

監事・地球ふるさと委員会

委員 武田 一毅

去る6月23日(月)、西大寺ふれあいセンターにおいてJ P 文化協議会30周年記念教育公演会が、J P 関係者をはじめ一般の方々をお迎えして開催されました。

公演には、おひとり座人形劇の西川禎一氏をお招きして、ばあさんの一人語り「まあ聞いてくれやす」と題してご公演いただきました。公演は、西川氏自ら舞台を設営し、これまた西川氏手作りの人形が登場してその名のおりの「おひとり座人形劇」ではのぼりとした雰囲気の中ではじまりました。

前半は、おばあさんの地獄の話しや戦時中の苦勞話し、子育て

ての話しを京都弁のやさしい口調で面白おかしく語り、後半は西川氏の子育て論や人形劇活動でのエピソードのお話しを語っていただきました。

特に前半のおばあさんの人形を使った語りは、何気ない動作が人形ではなく本当のおばあさんが語りかけているような感じで観客の方々は聞き入っていました。

当日の公演の内容は会場に來られたお客様を見て決められたそうで別に台本とかは無いということでした。西川氏は公演の中で、「なぜ台本も無いのにたくさん話ができるのか」というとそれは母がわたしの小さい頃からいろんな話をきかせてくれたからです。」と話されました。そして前半に登場したおばあさんの人形は、じつは西川氏のお母さんだったということに大変感動いたしました。

児童虐待や子育ての放棄、また家庭内暴力等、昔に比べて親子の絆が薄くなったように感じます。少子化で一人の



西川氏自らの
舞台づくり風景

子供にかまってあげる時間があるのになぜでしょう。西川氏は、このようにも話されました。「親の接し方が子供に合わせすぎているのではないですか。気を使いきすぎてはいないですか。もっと親が感動したことを素直に見せればいいのではないのでしょうか。親の背中を見せることも良いのではないですか。子供はそんな親の姿が記憶に残るのです。」たまの家庭サービステキで子育てに関わったつもりで私にとって、平日頃の親の態度について考えさせられた1日でした。

第39回 岡山ブロック 会員大会

総務広報委員会

委員長 山根 祐一

去る六月十五日、日曜日に第39回岡山ブロック会員大会が、真庭JC主管のもと勝山町民センターにて、「我がJaycee 志高く交わりて時代の光とならん」をテーマに、ブロック内JCメンバーの新しい交流のあり方と、連携によるJC活性化策を創造する事を本大会の目的と



するを、基本コンセプトに多くのメンバーが出席のもと開催されました。

エスパス少年少女合唱団のオープニングに始まり、ミュージカルビーボによる歌とダンス。また、次年度ブロック会長の発表・各種表彰・15LOM協働委員会によるブロックアワー、そしてその後の懇親会と他LOMメンバーとの膝を突き合わせた交流ができました。

真庭青年会議所

40周年記念式典

総務広報委員会 副委員長

井上 裕嗣

去る平成15年6月1日、真庭郡久世町のエスパースホールにて開催されました(社)真庭青年会議所様の周年式典に参加させていただきました。



当日は、岡山県内外各ロムのJCの同志達が一同にそろい、JCの友情により本場に多数の出席者が、参加していらつしやいました。そんな中、当西大寺青年会議所からも、延原理事長をはじめ、山名直前理事長、茂成監事、石井君、そして、私井上が出席し、真庭青年会議所の40周年記念式典の出席者名簿に名前を連ねることができました。

私が真庭青年会議所周年式典に参加して、強く感じたことは、真庭青年会議所では、特別会員(OB会員)と現役会員との絆がとても強いということでした。それは、当日式典に参加されていた特別会員の出席者数が、予想を遥かに越える人数であったことや、特別会員の方々がステージにご登壇される際に、現役会員との間で交わされていた笑顔と、固い握手にも表れていたように感じました。

私自身、西大寺青年会議所の周年式典に過去参加した経験があり、大変な盛況のうちに終わったことを誇りとしている所でありましたが、真庭青年会議所様のご様子を拝見するうち、我々には、JCを卒業された方々と現役会員との間に、交流する機会が足らなかつたのではないだろうかという、反省が浮かびました。

あくまで私個人の考えではありますが、現状のようにOB懇親会や新年祝賀会といった、公式の場での堅苦しい、名ばかりの交流などではなく、ロムナイトや打ち上げの際などの、心から打ち解けてお話しのできる場で、特別会員の方々と交流できたならば、我々現役会員にとつて、何よりも貴重な「心の絆」を持つ事ができるのではないだろうか。私は今、そう感じています。

最後に、当日参加された皆様におかれましては、遠路大変お疲れ様でした。

行・事・予・定

- | | | |
|-----------|-------------|--------------|
| 7月 9日(水) | 7月例会 | (西大寺商工会議所) |
| 7月21日(月) | 河川敷の清掃 | (吉井川左岸河川敷) |
| 7月27日(日) | 吉井川フェスタ2003 | (吉井川左岸河川敷) |
| 7月 27日(日) | 創立35周年記念式典 | (新見JC) |
| 8月 6日(水) | 8月例会 | (西大寺商工会議所) |
| 8月16日(土) | 献血推進運動 | (天満屋ビル・西大寺店) |

(社)西大寺青年会議所は会員を大募集しております。

男女問いません。私達と一緒に地域創りしませんか。

問い合わせ先

西大寺商工会議所内

(社)西大寺青年会議所

事務局 TEL086-942-0101

発行日 平成十五年七月九日
 発行責任者 延原寛紀
 編集責任者 山根祐一
 発行所 社団法人
 西大寺青年会議所